

日伯新聞

サンパウロ市... 発行所日伯社... 電話二一六八三

組合理事に望む

▲非ビジネス的な移住組合は前... 組合はさうアツクアツクせずとも... 先頭歸つた赤松總領事なども...

商務官設置

伯國外務省内に... 今回イタマラチ外務省内に商...

北伯諸州民の

聖州移住激増... 北伯諸州の地が農工商も小資...

パ・ボ國境問題

先週来ベノスに於て開かれた... 決定會議は兩國代表ともかた...

リベラルク

三浦生... 茲で一寸北ボリビヤの村落の...

郷里送金

御送金の伯貨は本店にて受取り... 日本内地郵便替料、書留料其他...

早く着く船

母國へ一番... 日本郵船の船は毎月一回南阿...

大統領教書... 好評を以て迎えられた... 伯國外務省内に...

F. S. Hampshire & Companhia Ltd. S. Paulo: Rua Alvares Penteado, 17 Sobrado Santos: Rua 15 de Novembro, 147 Sobrado

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd. RUA DA CANDELARIA 23 Caixa, 380 RIO DE JANEIRO

日本郵船會社... 神戶又は横濱迄... 日本から御呼寄せの便法...

上下両院は 休會つゞき 漸く非難の聲起る

去三日開院式後行後の聯邦上下 兩院は今日まで議員が欠席して 定數に満たずやうやく兩院各委 員會の委員の選舉を了つたばか

爲替相場の低落により 外資の活躍旺盛

前政府時代より兎角の噂のあつ たサントス株式會社買却の件 は過般北米某シンジケート代表

巴ナ州政府 昨午茶葉傳開始 巴ナ州政府當局は全州主要産 物たるマテ茶の市場開拓に關し

萬年リラ案 再び議會に上程される

さく年の聯邦議會に上程して一 時は聯邦官吏をうれしがらせ結 局はスカ喜びに終らせられた萬年リ

セントラル鐵道 石炭費

各省豫算は下院へ 今週中に廻付 政府は目下各省豫算を再審中だ

カフエ輸出豫想 今年度の伯國 カフエ輸出局のメデイオス氏の 語るところによると四月十一日

北米資本家の 勞資協調振り

北米における二十ヶ所の大製造 工場に就働する勞働者が一九二 六年度中に所持してゐた各自の

告 示

帝國總領事館 昭和三十五年五月四日 在サンパウロ

謹 告 かねて廣告の通りサンパウロ港附近におけるパナ、裁 培は全地が地理的に有利な位置を占め先頃よりロイド汽船始

告 示 帝國總領事館 昭和三十五年五月十八日 在サンパウロ

告 示 昭和三十五年五月十八日 在サンパウロ

告 示 昭和三十五年五月十八日 在サンパウロ

告 示 昭和三十五年五月十八日 在サンパウロ

告 示 昭和三十五年五月十八日 在サンパウロ

サントス山崩義捐金 四月末日迄の分

サントス山崩義捐金 四月末日迄の分

廣 告

廣 告 故大使館二等通譯官從七位嶺昌君客年三月十 五日死去當市バクタ墓地へ埋葬せられたるに

廣 告 故大使館二等通譯官從七位嶺昌君客年三月十 五日死去當市バクタ墓地へ埋葬せられたるに

寄附者芳名並びに金額 去四月二十一日チラデナス記念祭を兼ね小學兒童の卒業式

寄附者芳名並びに金額 去四月二十一日チラデナス記念祭を兼ね小學兒童の卒業式

廣 告

廣 告 故大使館二等通譯官從七位嶺昌君客年三月十 五日死去當市バクタ墓地へ埋葬せられたるに

廣 告 故大使館二等通譯官從七位嶺昌君客年三月十 五日死去當市バクタ墓地へ埋葬せられたるに

廣 告

廣 告

廣 告

廣 告

廣 告





破産を目的の銀行

細民の血を吸ふ

市内ルアキタンダ六番に金ピカ... 破産を目的の銀行... 細民の血を吸ふ...

同仁會々報は五月号より

過般の總會に於て議決された同... 同仁會々報は五月号より...

米價よし

本年の米作は... 米價よし... 本年の米作は...

子葉 防迫菓子店

北海道 尾川善五郎... 子葉 防迫菓子店... 北海道 尾川善五郎...

呼寄移民氏名

和歌山縣 山本 善太... 呼寄移民氏名... 和歌山縣 山本 善太...

海外株式會社移民部

Caixa, 1092 - S. Paulo... 海外株式會社移民部... Caixa, 1092 - S. Paulo...

謹告

日伯交通の漸く頻繁ならんとする時に當り伯國に志す者の第一に心強く感ずることは葡語辭典のあることです...

- 青柳郁太郎 多羅間鐵輔 原口七郎 坂元 靖 福川 薩然

土地賣却

▲▲地券の確實を望む人に... 交通至便の地を望む人に... 土地賣却...

Dr. H. SAITO MEDICO Clinica geral Av. Rodrigues Alves, 5-15 齊藤等

Dr. Takaoka 師 醫 高岡專太郎 市聖 フアグンデス街八

Dr. T. WATANABE R. Bras Cubas, 125-V Tle. 1757 - SANTOS 渡邊 勤

TERRA NA SOROCABANA Faz. Guaruaia, Est. Pres. Bernardes, L. Sorocabana Dr. Arthur Ramos e Silva Junior

如何に一般の好む地帯は素晴らしい... 土地賣却... 如何に一般の好む地帯は素晴らしい...

ARMOUR OF BRASIL CORPORATION FRIGORIFICO SÃO PAULO Alameda Cleveland, 34 - A Caixa. "T" S. Paulo

雪

夜がたり 大佛次郎

「お早う御座います」 雪掻きを物置にしまひに來た船頭の竹公が元氣よく後から聲をかけた。

「おつと...」 と呼びとめて 「済まねえが、手前武蔵屋さんへ行つてな、親分があるか何うか訊いて来てくれ、あらしつたら、...後はどうかがひますからといつて來るのだ。」

竹公はすぐ出て行つた。 茶の間へ戻ると、膳が出てゐる。「一本つけてくれ。」

とお殿にいつて置いて、毎朝のこと縁起棚の前へ坐つた。 まづ... 變に頭のはつて來る。

「いやなものを見てしまつたよ。法善寺の門の前、法蓮華經の石塔の下さ、雪の上に紅をまいたやうなもんな。二人ともそれお静かな死に顔だつた、覺悟の上だつたのに違ひない。相手の女もまるで夜鷹とは思はれない。品のいい器量だつた。 俺れアほんの一足遅れたんだ男の體にまだ暖か味があつたんだから...だがいくら俺でもこゝれお繩を打てなかつた。門を叩いて坊主を起して、夜があけて見物が立たねえ内と思つて戸板をかりて、すつかり圍ひをしてから御吟味を願つて出たの

さ、それから今まで...」 武蔵屋はから話した。 新助は死んだ大郎吉の懷中から出た自分にあつた書置を、湯玉のやうに熱い涙の中に讀んでゐた。

誰が悪いと云ふのでもなし、私達三人はまことに因果に生れて來たのでした。お村もあんな様へお託をした心持を染々と話して居ります、私も今夜のお別れの仕様が心にもないことだつたのをただ一つの心残りにして居ります、そのほかの事は、何事も満足です、どうせなるやうにしかならぬ浮世でした。悲しむ事はもう何も御座りませぬ。

今はふたりとも云ふばかりなく静かな心持であな様の御上を考へてをります、いつまでもお達者でお仕合せにお暮らさなさいませう。ふたりの旅にも、さいはひはこの雪あかりで御座りました... (終)

村田寫眞館

サンデーヒラビシイ 二一 電話 二一四四五 五月一杯ンヂストロ出張

夫婦喧嘩を 犬が喰つた話

堀 眞柄

をばさんは急に冷氣をましたこのごろ、少し遅れ氣味の仕立物に一生懸命だつた。 これは少しで上る、次に一枚、春の着替への羽織、續いて自分の神天と綿入れを縫はなかつた。それにしても何だつてか、早々と寒くなつたもんだらうね。トモ追ひつきやしない、縫たのたもの。

つちや着、着ちや縫ひ返し。それに第一着方が亂暴だからね、爪にかゝるし。一昨日下したばつかりのやつてもう足形と脱げ毛で薄よされるし、ほんとにベルの爲めにどんなに手が掛るかしれやしない。ベルさへもなやこの羽織だつて先月の中に出来てゐるよ。

も一つの裕だつて上つてゐたらう、ドララだつて縫ひ上げてゐるかも知れない、全くじやまつけな犬だよこの犬だつてベルみたいなのはありやしない、昔つてさ犬なんでものは土の上で大きくなるだ。ころころと轉廻つてさお味汁かけたおひやを食べて大きくなるんだ。人間だつて犬だつて育てかた一つさ。

つて犬だつて育てかた一つさ。 イイ、然り上げて大きくなつた者に碌なものありやしない、それでも大きくなりや樂のしみがいつまでたつても、カンジョリで拵へた様な犬ぢや張りが合ひがないよ。こんな瘦犬のことが可愛いんだと聞いたらいふことが振つてるよ。これを可愛くするには、人さ玉ねぎとジヤガドハウレン草をくたくたく煮て、野菜スープを拵へそれに玉子を落して毎日食はせば必ず肥るといふんぢやないか、随分人を食つた話だと思つたが同じ飼つてやるものなら可愛くなつた方がいよと思ふから、手間ヒマかけて拵へてさ、私達やお茶漬けですます時でも、ベルには玉子入りの野菜スープをつけるのにさ相變らずヒョロヒョロのビチ、金喰ひつたあこのをばさんはこんな事を思ひながらセッセと手を動かしてゐた「クチチン」金属のちか合つたかすかな音がした、玄關の方であーベルが下りたんだ、ウンコだらう、をばさんは腹が立つ、ベルの爲めに又用事がふえ

幻想のかけら

舟 人

真夜の首をもたげ つらとやうな 青い思想の手をさし伸べ 幻滅の星を掴まう... しゃうじよう群にくるまる 彼女の寐息をぬすみ聞かう... 寧ろ觸れまじきものにも ンと觸れてみよう...

あゝかくてこそ 紫紺のぼろは感覺の火華の 爆發だ... (むろん百万の目となり耳となつてをのき顔ふ延髄からの) 其の鼠のよな觸感で まさに乳色の素肌を まさぐらうとする... 刹那!

さした美しい幻の一筋の糸が ふと切れてふつ飛んで了つた... 其の糸へ切れてゐなかつたら 處女の焰も思はるばかりに 忽ちめらめら燃え立つたらう みぞれのやうなすすり泣も ヒリヒリ聞かれたらう... 尙昇天しようよ ならなくにおちようよ 勝手だつた筈だが しかしその時さて そこに残るものはたゞ 俺のうつろな眼のみに過ぎない ひあーい幻想のかけらだ やがて戸を繰り見ると 仰がんだ寒月の神燈が 虚空の片隅につきさつてゐた (シベリアにて)

F. Ambrosio & Co. 皮革、なめし皮 履物、カバン、其他旅行用具各種

FERNANDO HAKRAT Co. 肥料 肥料

O Japão em S. Paulo MASAO SUZUKI 日本品輸入商

CAFE ADELINO 經濟的 諸機械

TERRA NA ZONA DE ALTO CAFEZAL LINHA PAULISTA 土地賣却

大商船會社 優秀の大型客船